

ふみびと

第372号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

ことばより 先にある思い

思いのままに

文章を書くことが大の苦手だった子どもの頃。夏休みの読書感想文が何より憂鬱な宿題。

毎年のように夏休みの最後の最後まで残して、8月31日に半泣きでやっていたのを今でも思い出します。

自分がその本を読んでどう思ったかを書くだけ。言葉にすると簡単なことだけど、それを形にするのが意外と難しいもの。「宿題」という形のもので、どう思ったか

を伝えることよりも、どう書いたら正解なのかを無意識のうちに探す作業のようになっていたように思います。

そんな中でも好きだったのが手紙を書くこと。相手に何を伝えたいのか、思いを巡らせながらペンを走らせることも、それを読んでどんな反応をしてくれるだろうと想像することも含めて楽しんでいたような気がします。

「文章を書く」という



よりも、自分が伝えたいことを伝える手段がたまに書くことだったから、苦手な「文章を書く」ということが苦ではなく、楽しく感じられたのかもしれません。

手書きで何かを書くことが少なくなってきた時代。ましてや長い文章を書くことといったら、普通に生きていけば、もしかしたら一年に一回すらないことも。

心のゆとり

夕方の景色がきれいに見えるのは、空の色や光の具合といった自然の美しさのせいだけではないように思う。日中の喧騒が少しずつつ静まり、夜の静けさへと移ろうあの時間帯には、どこかほっとするような空気が漂っている。オレンジや薄紅、群青といった色が混ざり合う空のグラデーション

響いているのだろう。忙しさの中でふと立ち止まったとき、何気なく見上げた夕空がやけにきれいに

感じられることがある。それは、疲れた心が癒しを求めているからかもしれないし、静かな時間の訪れにほっとしているからかもしれない。結局、それをきれいと感じられる心のゆとりが、景色をさらに美しく見せてくれるのだ。今日や明日の夕方もまた、そんな心で空を見上げていたいと思う。

風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第…。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の返封に流す宛封下まで局用封筒に交わります。



次回発送日

7月の発送日は14日と28日の予定です。送りたいお手紙がある場合はそれぞれ11日と25日までに事務局に到着することをお近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂きたいです。方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せた上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。

